

陳 情	受 理 番 号	69	受 理 年 月 日	令和4年5月31日	付 託 委員会	教育福祉
件 名	那覇市民の生存権に関する陳情					

那覇市民の生存権に関する陳情

陳情の趣旨

那覇市民が幸せを感じることができるようにするため、健康を守るため、生活を楽しみ豊かにするため、那覇市内にある土地（那覇市立幼小中沖縄県立高校大学等の土地＝グラウンド）や施設（体育館、プール、教室など）を使えるように各機関に市長さんや市議会議員さんがお願いしてほしい。

陳情の理由

私達 [REDACTED] の会員は毎朝5時半から6時半まで（実質40分間）沖縄工業高校のグラウンドをこの28年間ウォーキングしてきました。この長い年月の中で多くの地域住民と親しく交流でき、毎朝のウォーキングを楽しんできました。また、テニスコートも、学校が鍵を預けて、元教職員に自由に土日祝祭日の早朝から2、3時間テニスをさせていました。

ところが、2019年ごろ、学校は毎朝歩いている会員の一人に、警備員を通して、校内への立ち入りを禁止するという内容の文書を手渡しました。その方は、強い違和感を感じ怒りを感じていました。

その後も学校は警備員を通して、86歳にもなるご高齢の会員に校内に立ち入ったら、住居侵入罪で逮捕させるといった言葉を発しました。それを聞いてその方はとてもショックを受けていました。

それで、学校側ときちんと話し合いをしたい旨の手紙を書いて、2020年10月頃でしたが、[REDACTED] が学校側に送りました。その際に、[REDACTED] の住所も記載しました。

ところが、その後、2020年12月8日に、それまで何の話し合いもなく、突然、一方的に「沖縄工業高校敷地内へ学校職員、関係者以外の立ち入りを禁ずる。校内への立ち入りの正当な理由がない場合は、退去を求める。退去に応じない場合は不審者と見なして警察に通報する」との通告文書を手渡してきました。

それで、会として納得がいかず、安心して歩かせてもらいたいので、文科省も学校開放を積極的に奨めているのに、これと逆行する学校の対応について上位機関である県教育庁の幹部に相談、お願いしたところ、退去に応じたら警察への通報はしないように学校が温かい配慮をするということを確認しました。それで、私達は安心して毎朝約10か月間学校のグラウンドをウォーキングしていました。

ところが、2021年10月大雨が降ってグラウンドの土が柔らかくなって草をスコップで根こそぎ除去しやすくなったので、それまでも何回か雨の後にスコップで根こそぎ除去してきましたが、特に学校側から男の注意も感謝の言葉もありませんでしたので、安心し、また、感謝の言葉がないのは何か事情があるからだろうと考え、その日も、スコップで草を除去しました。それまでも会員たちがグラウンドの猫の糞を袋に入れて除去したりしてグラウンド環境を良くするため奉仕してきました。

すると、学校はあろうことか、警察に110番通報し、その後、警察官が会員の自宅まで来て、今度学校内に入ったら逮捕すると警告してきました。逮捕などと言われ強い違和感と恐怖感を持ちました。

更に、それから数日後、学校は警察官を二人も連れて来て会員の自宅を訪ね、一方的に、「今度学校内に立ち入ったら直ちに警察に通報する」という通告文書を手渡しました。

学校のこのような対応や対応の変化は全く理解できません。普通なら、朝早くに（7時過ぎ）に、生徒が登校する前に、生徒のためを思って、草を除去したことで、感謝されるならまだしも、警察へ通報したり、警察官を連れて来て、脅しのようなことをするのはとてもショックです。

本来、学校と地域は生徒の教育のために、お互いに協力したり、情報を共有したりすべきだと思います。そのようにしたい、その方向で学校と地域住民が心をつにしたいとお願いしてきましたが、虚しいばかりです。

議員

つきましては、市長さんや市の教育長さん、市議会~~の~~先生方から、県教育庁や沖縄工業高校に対して、那覇市民が朝の早い時間帯に40分ぐらい、グラウンドをウォーキングしているので、（もう28年間、現在も毎朝歩いています）認めてくれるようお願いをさせていただきたく陳情しました。